■ 議 事 録 ■

令和6年度第1回延岡市地域公共交通会議

日時：令和6年5月22日（水）14：00～15：00

場所：延岡市中小企業振興センター4階 研修室3

参加者：別添のとおり

【事務局】

○それでは定刻となりましたので、令和6年度第1回延岡市地域公共交通会議及び第1回延岡市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

はじめに、本日の資料についてご確認をお願いいたします。

～配布資料の確認～

また、本日の出席者につきましては、お手元の資料でご確認ください。

○まず、地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会に入る前に、それぞれの会議における副会長の追加選任を行いたく存じます。事務局からの提案として、姫田委員を選任したいのですが、いかがでしょうか。

～異議なしの声～

○ありがとうございます。多数の賛成をいただきましたので、追加の副会長として姫田委員を選任いたします。

○それでは、ただ今より延岡市地域公共交通会議の議事に移ります。議事の進行につきましては、要綱の規定に基づき、本来ならば延岡市企画部長の吉岡会長にお願いすることになるのですが、吉岡会長が急遽参加ができなくなったことから、姫田副会長にお願いすることといたします。

それでは、姫田副会長、よろしくをお願いいたします。

【副会長】

○それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。

○本日は、第1回の交通会議及び活性化協議会の開催ということで、皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。会議にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

○本市の地域公共交通については、交通の担い手となる運転士不足や人口減少による需要低迷、さらに、オンラインの活用普及などコロナ禍に合わせた生活スタイルの定着などにより、大変厳しさを増しております。一方で、高齢化の一層の進行や運転免許証返納の推奨、脱炭素社会の推進という動きの中で、マイカーに代わる公共交通の社会的役割やニーズが益々高まっている状況です。

○国においては、運転士不足などの問題への対応として、いわゆるライドシェアに関する要件緩和や自動運転に関する支援などの施策を実施しております。

○本市としましては、このような国の動向も踏まえつつ、昨年度、皆様のご協力を賜り策定した「延岡市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の利用促進に寄与する様々な施策を実施することとしております。今年度の取組みとしましては、二種免許取得や車両取得に係る費用を助成する「持続可能な地域公共交通支援事業」をはじめ、「南北まちなか循環バスの再実証」や「既存路線の見直し検討」などを予定しているところです。

○また、バスの利用促進という点では、「延岡市バス利用促進協議会」による取組みを継続しつつ、県において今年度から新たに設立された「宮崎県バス利用促進協議会」で県や近隣市町村と協力して取り組んでいくこととしております。

○これらの取組みを効果的に進めるためには、皆様方のお力添えが重要となってまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

○本日は2つの会議で7つの議題をご説明させていただきますが、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

【副会長】

○では、まず、報告事項1「まちなか循環バスの利用料金の小学生割引について」事務局から説明をお願いします。

～ 報告事項1について事務局より説明 ～

【副会長】

○只今のご説明に対しまして、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

→ 質問等無し

【副会長】

○特にご意見、ご質問もないようですので、次に移りたいと思います。

【副会長】

○次に、報告事項2「北方町乗合タクシーの時刻表変更について」、事務局から説明をお願いします。

～ 報告事項2について事務局より説明 ～

【副会長】

○只今のご説明に対しまして、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

→ 質問等無し

【副会長】

○特にご意見、ご質問もないようですので、次に移りたいと思います。

【副会長】

○次に、協議事項1「延岡市地域公共交通会議設置要綱の改正について」事務局から説明をお願いします。

～ 協議事項1について事務局より説明 ～

【副会長】

○只今のご説明に対しまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いします。

【A委員】

○要綱第5条で「書面会議」について規定しているが「感染症などやむを得ず会議を招集できない場合」等の文言を盛り込んではどうでしょうか。

【副会長】

○事務局に回答を求めます。

【事務局】

○委員ご指摘のとおり、感染症の拡大により会議の対面開催が困難な場合も想定されます。感染症拡大の場合も書面会議を可能とする旨の追記について検討したいと思います。

【副会長】

○本提案を踏まえ、改正した要綱を次回の会議で報告するというところでよろしいでしょうか。

→ 異議なし

○ご承認いただき、ありがとうございます。次の議題に移ります。

【副会長】

○続いて、協議事項2「福祉有償運送の新規申請について」事務局及び申請者から説明をお願いします。

【事務局】

○福祉有償運送に係る協議については、これまで延岡市福祉有償運送運営協議会という福祉部署で平成20年に設置した協議体において行うこととしていました。しかしながら、登録申請に係る協議はこれまで1度もなく、また、令和5年10月の道路運送法の改正により地域公共交通会議でも諮ることができるようになったことから、重複する委員の負担軽減を図るため、本会議で諮らせていただくものです。

○今回の申請者は一般社団法人コンパス娘息子代行サービス様です。オンラインによる参加となっておりますので、よろしくお願いいたします。

～ 協議事項2について事務局及び申請者より説明 ～

【副会長】

○只今のご説明に対しまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いします。

【B委員】

○本事案に関し、3点質問があります。

○1点目は「福祉有償運送対象者の要件該当判断について」です。

先ほど、事務局から旅客の範囲における要件該当性を判断したとの報告がありましたが、福祉有償運送については、単独でタクシーを利用できない方が対象です。一方で、対象者の身体状態等が分かる書類が添付されていないため、本当にその方々が対象になるのか確認できません。どのような点で判断したのか、事務局又は申請者にお答えいただきたいと思います。

○2点目は「株式会社の車両を使用した運行の妥当性について」です。

申請者は一般社団法人コンパス娘息子代行サービスであるものの、車両は株式会社トーフクからの無料使用契約締結に基づくもののようです。株式会社による福祉有償運送が認められないことから便宜上一般社団法人の名を借りたものであり、実態としては株式会社による運行だと感じます。このような形での運行も可能なのか運輸支局にお答えいただきたいと思います。

○3点目は「デイサービスの利用について」です。

申請者はデイサービスを運営しているということですが、どこのデイサービスに行くことを想定しているのでしょうか。申請者にお答えいただきたいと思います。

【副会長】

○指定があった事務局及び委員に回答を求めます。

【事務局】

○1点目のご質問にお答えいたします。個人情報保護の関係で資料を配布していませんが、福祉有償運送における旅客の範囲の要件該当性については、身体障がい者は身体障害者の等級（障害者手帳）、要介護認定者は要介護度（介護保険証）の確認を行うこととされており、それ以外の精神障がい者や知的障がい者、要支援認定者、基本チェックリスト該当者などについては、福祉有償運送の必要性について福祉の専門家等を交えるなどして個別に判断することとされています。

今回、旅客の範囲において示された人数は6名であり、いずれも事務局において要介護認定者であること、身体状态的にも介助なしでは外出が困難である状態であることを確認したことから、資料にて報告したものになります。

【宮崎運輸支局】

○2点目のご質問にお答えいたします。車両の使用については「持ち込み自動車の取扱い」となり、これについては可能でございます。ただし、この場合であっても、申請者が当該車両の使用権原を有していることについて使用承諾書等を取り交わして明確にする必要があります。

【申請者】

○3点目の質問については、延岡市内に店舗のある施設を利用しています。車両については、トーフク所有であり、デイサービス事業の空き時間に車両を使うこととしているものです。今回の申請の目的は、

会員登録された方々のお墓参りやお出かけなど生きがい支援を図るものであることから、そのようなニーズへの対応を想定しています。

【C委員】

○一般社団法人コンパス娘息子代行サービスと株式会社トーフクとの関係性について教えてください。

【申請者】

○私たちの母体は「株式会社リハプライム」です。トーフクはリハプライムのフライチャンズ企業という位置づけになります。一般社団法人コンパス娘息子代行サービスは、デイサービス利用者の生きがい支援のために自家用有償運送に取り組みたいと思い立ち上げました。

【C委員】

○承知しました。

【副会長】

○ほか、何か意見はありますか。

【B委員】

○申請者に確認したいのですが、昨年12月に自家用有償運送の範囲拡大や要件緩和がなされたことはご存じでしょうか。

【申請者】

○把握できていない点があるかもしれませんので、ご教授いただけますと幸いです。

【B委員】

○当該改正により、運賃をタクシー料金の8割まで収受してよいことになっています。貴法人は、利用の対価を300円と説明しておりましたが、その金額だとほぼ燃料費等の実費相当分の運行経費に充てることになると思います。それならば、自家用有償運送での運行でなくて良く、車両保有者であるトーフクでも運行できると思います。

【副会長】

○申請者に回答を求めます。

【申請者】

○タクシー料金の8割まで運賃収受が可能になったことは承知しております。以前から市の運営協議会所管部署には相談しており、その際には300円で設定していたことなどからこの金額としております。今回は、この運賃額で申請させていただき、今後必要があれば見直しを検討したいと考えています。

【副会長】

○ここで決議のための協議に移らせていただきます。申請者におかれましては、オンラインのマイクをミュート、カメラをオフにしてください。

～申請者 マイクをミュート・カメラをオフ～

【副会長】

○それでは、意見のある委員は発言をお願いします。

【B委員】

○C委員にお尋ねします。申請者の説明を聞いていると、株式会社であるトーフクが法律上福祉有償運送を実施できないことから、一般社団法人の名を借りて運行するという、いわゆる名義貸しのような運行の申請ではないかと感じています。このような運行形態は適切なのでしょうか。

【副会長】

○C委員に回答を求めます。

【C委員】

○申請書類や申請者の説明を踏まえると、申請者はトーフクから車を借りているのみであり、実際の運行は申請者のスタッフが運転士として運行することになると理解できます。

○また、今回の申請書一式については、事前に宮崎運輸支局にて確認を行っているものと思われませんが、何か法的な瑕疵があったのでしょうか。

【宮崎運輸支局】

○確認している範囲では、法的瑕疵は認められません。

【C委員】

- 法的瑕疵がない以上、当該申請については問題ないと判断できます。
- 対価に関する意見もありましたが、対価の金額は法的事項とは別の話だと思います。
- 当協議会では、自家有償運送の取扱い改正とは異なる視点から協議すべきものと考えます。

【A委員】

- 登録者が6名のみだが、利用者はこの6名のみということでしょうか。今後、登録が新たに必要な時にはどのような対応になるのでしょうか。

【事務局】

- 今回は6名のみが利用できるということになります。新たに登録が必要な場合は、事務局であらかじめ要件を確認したうえで交通会議に諮ることになります。

【D委員】

- そうなると、対象要件確認のために毎回交通会議を開かないといけないということになるのでしょうか。

【事務局】

- 対面による開催は全員にとって負担が大きいため、場合によっては書面開催とするなど、何らかのルール作りは必要であると考えています。

【A委員】

- 福祉輸送の場合、対象者の個人情報を出さない中で、委員側も審議をすることが難しいと思います。「会長が認める者」などの特例を設けてはどうでしょうか。

【事務局】

- 旅客の範囲の要件該当性判断について、身体障がい者は身体障害者手帳、要介護認定者は介護保険証を確認することとされています。今回の申請は、いずれの対象者も要介護認定者であったことから、事務局として介護保険担当部署に対して要介護認定を間違いなく受けているか、介助なしでは外出が困難な状態か確認を求めた結果、要介護認定を受けており、かつ介助なしの外出は困難な状態であることを確認しましたので、当協議会へ報告させていただいた次第です。

一方で、精神障がい者や知的障がい者、要支援認定者等の要件該当性判断については、福祉有償運送の妥当性を会議に諮り、協議を調える必要があります。

ただし、委員ご指摘のとおり毎回会議を開くのは、委員の皆様への出席に係る負担が大きいため、あらかじめ事務局で協議した結果を基に書面開催とするなど、負担を軽減できる方法を検討していきたいと思っています。

【B委員】

- そもそも福祉有償運送の協議については、全国の自治体を見ると、福祉有償運送運営協議会というものを福祉部署が設置しており、交通事業者をはじめ、移動制約者の代弁者や福祉の専門家など福祉の視点も含めて少人数で協議しています。
- 一方で、地域公共交通会議は、非常に人数が多く、委員に示せる情報も限定的になること、福祉の専門家が少ないこと、協議内容が難解でありすべての委員に諮ることは負担が大きいため、この会議において福祉有償運送を諮ることは疑義があります。

【副会長】

- 事務局に回答を求めます。

【事務局】

- B委員ご指摘のとおり、他自治体では、福祉有償運送運営協議会を設置して協議を行っています。本市においても平成20年に運営協議会を設置していますが、令和5年10月の道路運送法改正に伴い、運営協議会は経過措置に位置づけられているのみであること、設立以降新規申請や更新に関する協議を行った実績がないこと、同一の委員が2つの協議会に重複していることなどを考慮し、この度の地域公共交通会議においてお諮りしたところです。

【副会長】

- 時間の都合もございますので、決議を取りたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

～賛成の挙手多数～

- 賛成多数ですので、本議題を承認いたします。ありがとうございます。
～申請者 オンライン回線不調で通信不可～
申請者には事務局から会議終了後に結果を連絡することとします。

【副会長】

- 特に（他に）ご意見、ご質問もないようでございますので、以上をもちまして、延岡市地域公共交通会議の議事を終了いたします。
- なお、支局様や関係機関と協議を行う中で、軽微な修正等が生じた場合は、会長一任ということでお引き受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。円滑な運営にご協力をいただき、ありがとうございました。一旦、事務局にお返しします。

【事務局】

- 以上で、地域公共交通会議を終了いたします。